



Pyramix v15 - Known Issues

- Windows 7 はサポートされなくなりました。
- Pyramix 15 は新しい Pyramix 15 キーが必要です。
- Pyramix 15 は、新しい MassCore バージョン - RTX64 v4.5.1.7199 が実行されます。
- Pyramix 15.0では、新しい RTX 実装(NAL)が導入されています。
MassCoreネットワークカードは直接使用できなくなり、RTX 仮想アダプターを介して使用されるようになりました。デバイス マネージャーではカードは「Merging Technologies PCIe 82574L Ethernet Controller」として表示されなくなり、「Intel 82574L Gigabit Ethernet Controller (RTX64)」および「Merging Technologies Primary Ethernet Controller」に変わります。MassCoreネットワークカードが検出されると、MassCoreNICサービスによって自動的にこの新しいスキームに変換されます。処理には多少時間がかかるため、システムの変換が必要なカードを初めて認識した際に、使用可能になるまでに1~2分かかる場合があります。
- インストール情報については、[Pyramix 15 インストール ガイドを参照してください。](#)
- 警告: Pyramix 15 は第 4 世代 Intel Core プロセッサ (4XXXXK 以上) でサポートされており、以前の世代のプロセッサでは起動しません。
- 推奨仕様: <https://merging.atlassian.net/wiki/pages/viewpage.action?pageId=4817980>
- カスタムインストールではインストール時に問題が発生する可能性があることが知られています。推奨されているフルバージョンのPyramixをインストールしてください。
- プロジェクトで **Wavesプラグインv15.0.0** を使用している場合、ハングアップによりPyramixプロジェクトを再度開けなくなる可能性があります。Wavesチームはこの問題を認識しており、アップデートを提供する予定ですが、現時点ではWaves 14.xバージョンをご利用いただくことをお勧めします。
- VB プラグイン (VS3) はレガシーとなりました。これらのプラグインを引き続き使用することはできますが、アクティブな開発やサポートは行われません。
- Strip Tool:EQ プリダイナミック オプションがデフォルトで有効(新しいプラグイン インスタンスでは、既存のプロジェクトの Strip Tool は変更されません)。
- Pyramix 初回起動時: キーボードショートカットの選択が削除されました(Pyramix 推奨プリセットがデフォルトで使用されます)。Settings > Keyboard Shortcut Editor で変更するか、別のプリセットを使用してください。
- Video タブは廃止されました。
- Flux VS3プラグインは、Fluxのアップデート待ちのため、UIが破損している場合があります(VSTバージョンは問題ありません)。
回避策: FluxプラグインのUIを開き、設定(歯車アイコン)にアクセスしてUI size を選択してください。
- Pyramix 15 プロジェクトは Pyramix 14 と下位互換性がないため、プロジェクトを v14 で開くためには Save Special > v14.0 を実行してください。
- Pyramixプロジェクト(v10/v11/v12/25th/v14/v15バスレイアウト/構造)は、Save Special v9.0プロジェクト内では保存できません。保存しようとする警告メッセージが表示されます。



- 従来の Multi Mono および Multi Stereo バスは、自動的に Object Bus に変換されます。
- Save Special v11.1 以前のプロジェクトでは Ambisonic がサポートされていないため、Mixer の Ambisonic コンポーネントをすべて保存することはできません。
- Ambisonic Decoder は、標準的なチャンネルタイプと位置を持つバーチャルルームにのみデコードします。カスタムルームが必要な場合は、まずスピーカーをカスタムルームにできるだけ近づけて標準バスにデコードし、そのバスをGPSストリップを介してカスタムバスに送ってください。
- 一部のトラックのミュートを解除して(オーディオが再生されるように)保存したプロジェクトを開くと、すべてのトラックがミュートされた状態になります。
Source/Destination プロジェクトまたはテンプレートは、すべてのトラックグループがデフォルトで *Auto Solo*, *Auto Mute* またはその両方に設定される可能性があります。両方の設定が有効になっている場合、プロジェクトの読み込み時にデフォルトでトラックは選択されず、すべての Track Group がミュートされます。
- Mixdown SRC: Mixdown のSRCオプションは、Media Manager のサンプリングレート変換ツールと共有されます。SRCを使用する Mixdown の後に、Media Manager のサンプリングレート変換ツールを使用してSRCパラメータを変更すると、Mixdown ダイアログボックスのSRCセクションも変更されるので注意してください。
- NVidiaグラフィックカードで **Wavesプラグイン** を利用する場合は、「スレッド最適化」が「オフ」になっていることを確認してください。「オン」になっているとWaves VSTプラグインで問題が発生する可能性があります。
こちらのリンクをご参照ください:
<https://merging.atlassian.net/wiki/display/PUBLICDOC/Graphic+cards+recommended+settings>
- Background Recorder は、バックグラウンドRecを開始したときにフォルダが選択されていない場合、最後に Mount されたフォルダに記録します。
- **PMX140-21**: MassCore: 1 つのストリームをサイズの異なる複数の Sink にルーティングすると、問題が発生します。MassCore からオーディオを 2 つの異なるデバイス(Horus, Hapi, Anubis などのハードウェア デバイスや MAD や VAD などのソフトウェア デバイス)にルーティングしても、異なる受信機のチャンネル数が同じでない場合(例: デバイス 1 に 16 チャンネル、デバイス 2 に 12 チャンネル)、Mixer Routing ページに間違った名前が表示され、個々のチャンネルが適切にルーティングされないことがあります。
回避策: Advanced Page を使用して、最初に MassCore で必要な最大チャンネル数の Source を作成し、次にすべてのチャンネルを必要とするデバイスに Sink を作成し、最後に 2 番目のデバイスに Sink を作成します。
注意: Horus / Hapi MK1 を使用する場合は、Horus / Hapi MK1 が 8 チャンネルのブロックに最適化されているため、パフォーマンスの問題を回避するために 8 チャンネル(8, 16, 24, ...) のストリームを使用してください。
- **PMX111-19**: 99 を超える Index を持つ “Generate CD Image”, “Digital Release”, “Album Publishing” はサポートされていません(Redbook の制限)。
- Fixed cursor モードはリアルタイム再生編集には推奨していません。
- **Black magic Design ASIO** ドライバーは **ASIO4ALL** と競合するため、VS3 Control Panel がクラッシュする可能性があります。



- v15 の Library 形式は、Pyramixの旧リリース(v7.1など)とは互換性がありません。Library メニューで “Save as v7.1” を選択してください。
- Merging では、プロジェクトと同じサンプリングレートではないタイムラインメディアクリップを Recしながら Edit を行うことを推奨していません。リアルタイムSRCの処理が必要になるため、パフォーマンスに問題が生じる可能性があります。
- Merging では、Seagate 社の Green, Eco シリーズ の HDD の使用を推奨していません。
- Pyramix には “Not Enough Streams available (利用可能なストリーム数が足りません)” という警告メッセージが表示される場合があります。これは、録音可能な最大入力数に達したときに表示されます。このような場合は、入力数を減らすか、入力を消費しているバックグラウンドレコーダーを無効にすることをお勧めします。その後、再生開始時に “Re-activation Project (プロジェクトを再アクティブ化しています)” というメッセージボックスが表示される場合は、プロジェクトを閉じて再度開いてください。このエラーを回避するには、VS3 Control Panel で Secondary Device/ASIO bridge, Rewire を有効にしているため、Stream が消費されている場合があります。使用していない場合は、このオプションを無効にしてください。
- Merging では、外付けUSBディスクを利用するユーザーに、Windowsのディスクプロパティの「プロファイリング」タブにある「パフォーマンス優先」オプションを使用してディスクを設定することを推奨しています。詳細については、Mergingシステム構成ガイドをご覧ください。
<http://www.merging.com/support/system-configurations>
- MassCore: 大きなプロジェクトを保存後、またはミキサーの再構築(プロジェクトの開閉)時に、Core Indicator がピーク/オーバーロードを表示します。Core Indicator をクリックしてリセットしてください。
- Mixer Automation Bus AUS Send
Bus Aux Send のオン/オフは Automation せず、Auxのゲインを Automation することをお勧めします。遅延補正の問題が発生する可能性があります。
- Pyramix Video
Video Wrap ダイアログが隠れてしまう場合があります。最前面に表示するには Altキー を使用してください。
Video は Consolidate でサポートされていません。
Blackmagic Designのカードでは、逆再生時にオフセット遅延が発生する場合があります。
Blackmagic Designのカードでは、停止せずにチェイスを行うと正しく遅延が表示されない場合があります。
- Pyramix Video タイムラインの Pyramix ビデオ:
複数のビデオ ファイルまたは編集を参照するプロジェクトを開くと、時間がかかることがあります(1 分程度で完了します)。しばらくお待ちください。
- Mixdown におけるPMF
PMFファイル形式は、コンプライアンス上の問題により、Pyramix v11.1以降、Mixdown から削除されました。Pyramix v11.1時点での推奨事項は以下のとおりです。
 - 録音の場合: Pyramix v11.1では、コンプライアンス上の理由から、デフォルトは BWFです。
 - Mixdown の場合: BWFを推奨しています



- Album Publishing の場合: より良い信号の流れのために Digital Release で選択したフォーマット
- Render について: 元の形式、PMF、またはMTFFへのレンダリングをお勧めします。DSDIFF は推奨していません。
- DiscWrite の既知の問題: <https://merging.atlassian.net/wiki/display/PUBLICDOC/Disc+Write>
- ADRキーボードをご利用のユーザーへ: Windows 10 October 2018 Update (1809) 以降を使用している場合は、ChangeMe バージョン 5.25.8 が必要です。以前のバージョンは、これらの Windows 10 アップデートでは動作しません。アップデートについては、ナレッジベースのインストール手順に従ってください:
<https://merging.atlassian.net/wiki/display/PUBLICDOC/Pyramix+ADR+and+Ovation+keyboard+install+guide>
- Take Logger の Safety Record に関する問題: トランスポートが停止しているときに、押されたコマンドが正しく適用されません。つまり、Safety Record 中に “Abort & Delete” を押しても何も起こりません。しかし、Safety Record して Stop すると、コマンドが適用され、テイクが削除されます。慎重に扱ってください。
- 複数のプロジェクトを同時に開く: 8 つ以上のプロジェクトを同時に開くことはお勧めしません (GDI オブジェクトの制限のため)。
- Cedar ユーザーは、Pyramix 64 ビットの最新バージョンをインストールしてください。
<https://merging.atlassian.net/wiki/display/PUBLICDOC/Cedar+Render>
レンダリング ツールは、C:\ のルートに CEDAR および Nova v0.99 の一時ファイルを作成します。Merging では、サードパーティレンダラーの一時ファイル パスを変更できません。
- Media Recoverer と DSDIFF Recoverer は、破損したファイルを修復できるユーティリティです。
<https://merging.atlassian.net/wiki/display/PUBLICDOC/Media+Recoverer>
- VS3 Algorithmix DeNoiser と DeScratcher はサポートされていますが、今後はメンテナンスされません。
既知の問題: 最初のプロジェクトを保存して閉じ、再度開くまで、“Dmo” と表示される場合があります (完全に機能している場合でも)。
- [Algorithmix デノイザー - Descratcher](#)
- [Algorithmix Denoiser - Descratcher Windows 10](#)
- [アルゴリズムミックス ReNOVAtor](#)
- [DSDIFFメディアv10.0がオフラインで表示される](#)
- [以前のバージョンのMXFメディアがオフラインで表示される](#)
- [メディアマネージャーの推奨事項](#)
- [Pyramix ADRキーボードの潜在的なフリーズ](#)
- [サラウンドパンナーが正しく表示されない](#)